

5番（種村 博行君） おはようございます。

今日は2回目の一般質問で、前は初めてで随分緊張していたのですが、今日はゆっくりしようかなと、努力しようかなと思ってますので、よろしく願いをいたします。

今日の質問は災害についての3項目を上げてみました。

1つは原発と再生可能エネルギー、2番目がゲリラ豪雨について、3番目が地震対策ということで、3つの大項目で質問をさせていただきます。

まず最初に、これは町長に質問なんですけども、読み上げていきます。

原子力発電所をどう考えてみえますか。

2番目にスマートシティ構想、これは所信表明で町長が言われました。非常に私、興味があって期待をしています。マスタープランというのができたでしょうか。

それから太陽光パネルに補助金をつけてください。

その3項目、よろしく願いいたします。

議長（南部 武司君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） おはようございます。

6月議会初めての答弁をさせていただきます。

「原発と再生可能エネルギーについて」のご質問にお答えをさせていただきます。

まず、原発をどうしているかという質問でございますが、私個人の考え方ということでお答えをさせていただきます。

核エネルギーの利用につきましては、広島・長崎を経験しました日本人にとりまして非常に厳しい見方があると思っております。

平和利用とはいえ、私たちは利便性を享受すると同時に、大きなリスクも背負っているということになります。

昨年の東日本大震災により福島原発の施設が大きなダメージを受け、漏れ出した放射能の影響が周辺地域に広く拡散していくという現実が、それを如実に物語っております。

国民の努力と工夫で今年の夏を乗り越え、今この時点で日本の原発が一基も動いていないことを考え合わせると、私は、できるだけ早く原子力利用には終止符を打つべきではないかと考えております。

世界第3位のエネルギー供給量のある地熱発電や、100年以上供給可能な埋蔵量があると言われるメタンハイドレートなどの新しいエネルギー源、超電導直流送電などの送電技術、蓄電技術などの研究開発は、日本の技術をもってすれば大きな期待が持てるのではないかと考えております。

次に、スマートシティ構想につきましてであります。これから町民の皆様のご意見をいただく作業に入っていくところでございまして、残念ながらマスタープラン作成の段階には至っておりません。

今後急激な高齢化を迎える本町といたしましては、笹尾・城山地域の人の循環ということも大きな課題であり、こうした地域の受け皿という意味もございまして、中心市街地構想を核とした、町の形を変えていくということでなければ、将来の東員町はないのではないかという危機感がございますので、急いで作業を進めてまいりたいと考えております。

次に、3点目の太陽光パネル設置に補助をとのことでございますが、本町は、家庭用新エネルギー普及支援事業費補助金で、住宅用太陽光発電設備を対象として、平成20年度まで補助金を交付してまいりましたが、平成21年度から県補助金が廃止されたことや、申請件数の減少に伴い、本町の補助金も廃止をいたしました。

現在、国が実施する住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金は、1キロワット当たり3万円から3万5,000円となっております。

いずれにいたしましても、スマートシティ構想には家庭用新エネルギーの普及が必要不可欠と考えておりますので、自然エネルギーの利用促進補助についても、構想を策定する中で、どのように取り扱うのかを検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

町長は所信表明でスマートシティ構想、先ほどのスマートシティの私の思っていることとちょっと違うのかなと思って、私の思っていることの感想ですけども、あの思いであれば、脱原発やCO₂削減の思いがあるということは推測はできますので、改めて原発どうやということを聞かせてもらいました。

原発事故が起きてから4月末でしたか、町長のところへ多分いっていると思うんですけども、脱原発をめざす首長会議、静岡の湖西市長が発起人になって、全国の1,700の市町村に入らないかというので、来てると思うんですけども、1,700の市町村で入ったのが70市町村と聞いてます。三重県では伊勢市が入っているようですね。私、東員町入っているかなと思って一生懸命探したんですけども、残念ながらなかったようんですけども、今の話ですと、脱原発をめざす首長会議と、ほぼ考えは一緒かなと私は思ってます。

原発は福島もそうですけど、チェルノブイリでもそうですけども、1回事故を起こしたら無茶苦茶になってしまうんです。チェルノブイリなんか、あれは80何年でしたか、25~26年たっていると思うんですけども、まだ30キロ圏内は立ち入り禁止なんですね。福島も多分、こんなことを言ったらあれですけども、かなりの間は立入禁止になると思うんです。

事故を起こしたら、とてつもない、東員町が例えば大飯から90キロだ何だとかと、そんな問題じゃないんです。これは地球全体の問題だと私は考えてます。

もう一方、これは余り話が出ないのですが、核の廃棄物の問題です。世界ではフィンランドにコンカラという処理場があるんですね。世界にそこだけなんです。

日本はどうしているかという、この間、福島のコールドプールがどうたらこうたらと言ってましたよね、それと六ヶ所村、今、冷却中なんです。30年かけて冷却して、後は埋め立てると言っているんですね。コンカラは500メートルですけども、300メートル以上のところに埋め立てるということは、時々新聞に載ってますね。かれこれ日本も30年になります。そのうちに埋め立ての話が出てきます。自治体に、また交付金か何かをつけて埋め立てしてくれやんかという話が出ると思うんですね。

埋め立てた後、何年かかって無害になるかという、数十万年以上、人間が誕生して450万年、石器時代が10万年前です。石器時代と同じ間隔で、核は未来に無害になるんですね。そんなものを好きなところに埋めていいわけじゃないですか。そんなことを私は孫たちに、子どもたちに残したくない、そういう思いですね。町長も多分一緒だと思うんですけども。

ドイツは17基ある原発を2022年までになくすと言いました。日本はどうしているかという、この間、経済産業省が4つの案を出しましたね。それを政府に出して、政府はまだ決めかねているようなところですけども、片や再生エネルギーを増やすのに一生懸命努力している、何か日本の政府って優柔不断だなと、そういう感じがするんですけども。

我々地方は、そうはいつでも政府がゆっくりしているから、我々が一生懸命やらんといかん、私はそう思ってます。

ところで町長が今、メガソーラという話をされましたけども、省水力ですね、そのところの進捗、導入の検討というのはどこまで進んでいるかをお聞きしたいんですが。

議長（南部 武司君） 水谷俊郎町長。

町長（水谷 俊郎君） 実は省水力発電につきましては、県に調査を依頼しておりました農業用水などを利用した発電でございますけれども、東員町は高低差が非常に少ない、平坦地が多いわけですね。非常に効率が悪いという結果が出ております。もう一つ、員弁川本流の水を利用した、そのままではないんですけど、ちょっとそれを加工せんなんなんですけど、それを利用した調査を、それもちょっとやってまして、それで発電可能な状況になれば、少し動いてみたいなというふうに思っております。

また太陽光につきましては、今、民間の企業の皆さんの中でメガソーラの話が動いておりまして、規模的には約5メガから10メガの間ぐらいだろうというふうに思っておりますが、そのような話が動いていることは事実でございます、政府が7月に電力買い取りを決めますので、そうになったら本格的に動いていくというふう

なことを思っております、これが本決まりになりましたら、皆様にもご報告申し上げられるのではないかとこのように思っております。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

3月の一般質問で、どなたかが再生エネルギーのお話をされたと思うんですけども、学校の屋根につけると強度が足らんよという話があったと思うんですけども、グローバルソーラのシート状のものがあるんですね。今はソーラといっても重たいものではなくて、多種多様なものがあります。田んぼのビニールハウスの上にもつけたり、箱車、トラックの上に張るとか、そんな軽いものがありますので、どんなものがあるか、そういうものを調べてやったほうがいいと思います。ただ単に、だれかが言われて重たいからやめた、そうじゃなくて、調べたほうがいいと思います。

固定買い取り制度が7月から始まりますけども、太陽光、10キロ以上は固定買い取りが20年なんですね。10キロ以下は10年です。20年になると、かなり採算が合うから、大企業もどんどん入ってくるわけです。

1つ提案なんですけども、今、グローバルソーラの話をしましたけども、屋根貸しというのがあるんですね。それを一回公募してはどうかなと思うんですけども。震災時にみんなが集まるところは電源を切り離して照明に使うとか、今、屋根貸しがはやっているというか、いろいろありますので、一回公募をかけて、東員町の屋根がこんなあるよというのをやったらどうかなと私は思っています。なかなかおもしろい話だと思うんですけども、その辺のところはどうでしょうか。

議長（南部 武司君） 水谷俊郎町長。

町長（水谷 俊郎君） 先ほど太陽光パネルのいろんな種類があるというふうなことをお聞きしましたけども、私もこの前、デンソーに行きまして、車庫というか、カーポートがありますね。あそこはあの上に張ってあるんですね。それが透光性になってまして、薄いものがペラッと張ってあって、光を通すんですね。中まで光が来る。今はそんな薄い発電するパネルがあるということもお聞きしてはおりますので、それは研究をさせていただきたいと思いますが、学校の屋上の話は、実は重量もそうなんです、方向ですね、要は校舎の形が太陽に正対しているかどうかというのがありまして、それが発電効率にもものすごく影響するというので、今それも精査をして前へ進もうと、このようにございます。

それと屋根貸しの件なんですけども、この話も政策のほうで検討をしているところでございますけども、実は大阪大学のある研究室といろいろ話をさせていただいてまして、屋根貸しの話もアドバイスをいただいておりますので、少し勉強していきたいなというふうに思っています。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番(種村 博行君) ありがとうございました。

シート状のものは多少効率が悪いみたいなんですけども、屋根貸しするのなら、貸された事業者さんが効率計算とか採算計算をやると思いますので、その辺は向こうへ投げかけて、どうやということを、角度がどうたらじゃなくて、こっちで判断するんじゃないかと、向こうに判断させればいいと思いますので、そうやったほうがいいと思います。せっかく空いてますので。文化センターも、今度屋根のシートを張りかえるでしょう。張りかえた後に使うとか、そんなことを考えたらいいいと思います。

スマートシティの話になりますけども、先ほど町長が言われたスマートシティは、ちょっと私感覚が違うなと思ってるんですけども、この構想は4年前にオバマ大統領がニューディール政策というのを打ち出しましたね。グリーンエネルギーで再生をとということで。当時、ブッシュ大統領が、CO₂削減は経済成長を妨げるんだという話で、それからオバマ大統領にかわって、グリーンエネルギーで活性化を図ると。

それはどうするかというと、太陽光とか地熱とか、資源再生エネルギーですけども、それをやると、例えばこの辺だと中部電力ですけども、送電してきますね、こちらから再生エネルギーで発電して電気をつくるんですね。こっちは不安定なんです。天気の良い日とか悪い日とかいろいろありますので。そうすると不安定な電気が送電線に入っていくと、電圧が非常に不安定になってしまう。6.6キロとか6.8キロとか6.7キロとか、バラバラ複雑になる。それを防ぐのに地域で地産地消しようよというのが、スマートシティの始まりなんです。消費者と発電者がネットワークを組んで、どれだけ使うんだ、だからどれだけ発電するんだというのを、小さな地域で地産地消をやって需給バランスをとる、これがスマートシティの始まりなんです。

先ほど町長が言われたのはスマートコミュニティの話かなと私は思ってますけども、町長の所信表明に、スマートシティとスマートコミュニティと2つ書いてあったんですから、私はシティのお話をさせてもらったんですけども。

電圧のバランスが崩れるから自給バランスをとる、これがスマートシティの始まりで、ネットワークを組まないといかんのですから、ネットワークを組んだら、何かネットワークを使って独居老人の何とかだったり、そういうのもネットワークで使えるんじゃないかと。これがスマートシティの始まりなんです。まず最初にネットワークを組むということから始まらんといかん話なんです。そういうマスタープランができてますかという話だったんですけども、ちょっと違って残念かなと思うんですけど。

需給バランスをとるといのは、最近家庭でもエムズ住宅といって、自分ところのソーラで発電して昼間に発電したものを60アンペア/アワーから80アンペ

アノアワーぐらいの蓄電池をつけて蓄電しておいて、夜間にお天道さんがないときに使うと、そういうスマートハウスというのが売り出されてますね。トヨタホームでも積水でも、いろいろあります。それが家庭の地産地消なんですね。少し大きくなって、まちの地産地消のスマートシティがある。そういう感じだと私は思ってるんですけど。

それにしてもスマートシティをつくっていくというのは大変な努力が要ると思うんですね。マスタープランをつくるにしても、コンサルを入れるとか、電力の供給会社は今24業者あるんですけども、そこをお願いして、いろんな相談をするとかしていかないと、どんどん自然エネルギーを導入していっても大変なことになる。電圧変動で、また電圧が上がり過ぎると停電になる。そんなことになるからスマートシティ構想というのが生まれたわけです。

そういうことも一緒に東員町はやっていかんとあかんなど。政府や電力会社がやるかもわかりませんが、小さなところでやるというのが、去年から4大都市で、横浜と京阪奈都市と北九州の福岡と4カ所ぐらいで実験をやってますけども、その実験をやっているのも見に行ったら勉強されたらいいかなと私は思ってるんですけども。

先ほどのスマートシティもそうですけども、コミュニティもそうですけども、まちおこしになるなと私は思ってます。一斉に立ち上げると失敗するかわかりませんが、早く立ち上げて、東員町はこんなことをやっているよというまちおこしをしたら、私はいいのかなとは思ってますけども。さっきはコミュニティの話をされましたので、質問がどこかに飛んでしまいましたけども、その辺でどうですかね。

議長（南部 武司君） 水谷俊郎町長。

町長（水谷 俊郎君） 先ほどちょっとお話をさせていただいたんですが、そのまちが、例えば今検討してます省水力発電だとか、太陽光発電だとか、あるいは燃料電池発電ということも頭に入っているんですが、そういうものをひっくるめて一つの、今私が言いましたまちの中で地産のエネルギーを活用する、そしてもう一つ、今考えているのが、蓄電の話をされました、家庭ではエネファームみたいな形でやってますけども、コストを下げるのには古い鉛電池ですね、それが今いっぱい余っているんですね。それをクリーニングして再生させて使うということ。移動させなければ、重たくても大丈夫なんですね。クリーニングして使うと、大体コストが10分の1ぐらいで済むらしいですね。新品を買うのに比べて10分の1ぐらいで済んで、これがまた10年使えるというような代物であるというふうに聞いておまして、このクリーニング技術が開発されたということで、こういうことも考えていけるんじゃないかなというふうなことを思ってます、まち全体が地産のエネルギーを活用するとともに、その中では廃棄ガスを出す車を動かさないだとか、あるいはごみを出さないとか、ともかく要はエコシティですね、そういう取り組み

を町をあげてつくってあげればと。だから私が申し上げたまちの中で、議員言われるスマートシティという構想を実現化させていきたいというふうに考えております。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） その構想の中にぜひ電気自動車を入れて、車に蓄電した電気を昼間電気自動車を使うとか、そういうことも入れたらおもしろいかなと思うんですけど。

太陽光パネルの補助金の話ですけども、CO₂削減、これは我々子孫に温暖化の地球を残したらいかん、それはもう私たちの使命ですけども、CO₂削減もそうですけども、原発の依存から脱却するというのもそうです。ぜひ太陽光パネルを東員町にも補助を出して増やしていかないかなと思ってます。

四日市のこの間の新聞で発表しましたね。桑名市も、あそこは予算規模これだけという枠を決めて、抽選か何かでやっているみたいなんですけども、東員町もぜひ補助金を出して、いっぱいパネルがつくように、エムズ住宅までいくといいんですけども、そこまでいくといいなと思ってます。

1つの提案なんですけども、先ほど屋根貸しの話をしましたけども、屋根を貸せば利益が少し生まれますので、その利益を補助金に回せばどうかなと私は思っているんですけども、どうでしょうかね。

議長（南部 武司君） 水谷俊郎町長。

町長（水谷 俊郎君） 補助金の話は、先ほども申し上げましたように、今検討をさせていただいて前向きに考えていきたいと思えます。さっきのご提言も非常にすばらしいご提言だと思えますので、それも含めて検討させていただきたいと思えます。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

それでは2つ目の質問に移ります。

2つ目は、ゲリラ豪雨についての質問であります。通告書に書かせてもらいましたので、そのまま読ませてもらいます。

昨年7月25日早朝のゲリラ豪雨では、穴太・筑紫の番場川があふれて床下浸水や民家の孤立、道路側面がえぐられる被害がありました。当時の雨量は相当ひどいものでしたが、番場川を観察すると、七和地区と接続する手前で細くなっている。

1．細くなっている部分を拡幅する計画をしてください。

2．番場川以外にあふれた川はありましたか。

3．被害を防止するのに東員町のあちこちに水門があると思うんですけども、その水門を管理する人たちの心的負担を軽減するために、ゲリラ豪雨メール、これはウェザーニュースという会社なんですけども、あと気象庁の降水短時間予報の活用を検討をしてください。

4．河川内に土砂の堆積が多く見られる。川ざらいを計画してください。

5．道の名前はわかりませんので、ちょっとこう書きましたけど、東員から四日市線と中上から長深線、これは三孤子川に沿ってる道ですけども、そこを交差するトンネルというか、高架下ですけども、そこに雨水が冠水したときにはどういう対策をとっているか。その5点についてお願いをいたします。

議長（南部 武司君） 藤井浩二建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） 種村議員のゲリラ豪雨についてのご質問にお答えを申し上げます。

昨年7月25日に発生いたしましたゲリラ豪雨につきましては、時間当たり50ミリを超える雨量を観測し、特に神田地区では、道路側溝、用排水路などからあふれ出た水で道路の法面が崩れ、その復旧に努めてまいりました。

ご質問の番場川におきましても、一部堤防を乗り越し、下流部の道路法面が崩れ、その対応もいたしております。

まず、1点目の番場川の筑紫春日神社西付近の部分的な道路拡幅についてのご提案でございますが、番場川は、神田地区内の排水などが集中する河川でございます。通常の降雨時におきましては、堤防からの越流は確認いたしておりませんが、ゲリラ豪雨等の対策につきましては、堤体のかさ上げや部分的改良など、今後、地元自治会など、関係機関と協議をさせていただき、検討してまいりたいと考えております。

次に2点目の、7月25日に番場川以外にあふれた河川についてでございますが、局地的な降雨でございましたので、他の河川での越流などは確認いたしておりません。

日は違いますが、9月4日には、台風12号の集中豪雨の影響によりまして、三孤子川の一部におきまして、堤防を乗り越し、田等への流入がございました。

次に3点目でございますが、ご指摘のゲリラ豪雨等を予測するメール配信でございますが、河川等に設置されております水門などの取水施設につきましては、水利権を有する農家組合、土地改良区などで管理をしていただいております。気象予報の活用につきましては、どうかそれぞれの団体でご検討いただきたいと思いますところでございます。

次に4点目の河川内の土砂の堆積についてでございますが、町内の2級河川であります戸上川、藤川、三孤子川の一部につきましては、以前から三重県により河床整理等を実施していただいておりますところでございます。今後も計画的な実施について、県へ強く要望してまいりたいと考えております。

最後に5点目のアンダーボックス内の冠水時の対策についてでございますが、ご指摘の箇所には排水ポンプを設置し、冠水時の事故防止を図っているところでございます。

集中豪雨、警報発令時におきましては、道路パトロールを実施し、通行に支障をきたす場合には、安全確保のため、通行止め等の措置を行っております。

ご理解賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

問題は、今のところは三孤子川と番場川ですか、あふれたのはね。そういうところですね。そこら辺は重点的にやっていかないかと思うんですけども、番場川のほうは桑名市がすぐ東側にありますので、その辺の関連もあるかと思うんですけども、ぜひ拡幅というか、私は拡幅でいいのかどうかわかりません。いろいろ設計して、専門家の測量も要るかと思うんですけども、その辺も踏まえて、結論とすればあふれないようにしてくださいということですので、降雨がどれぐらいでということ、なかなか出ないと思うんですけども、現実には50ミリであふれたということで、最近では50ミリというのは、地球温暖化のせいかわかりませんが、当たり前なんですよね。ですので、もうちょっと設定値を上げてやってほしいな。全部の川ですけどね、よろしくお願いしたいと思います。

それから土砂の川ざらいのお話ですけども、ゲリラ豪雨メールの話ですけども、今、管理されているところでやってくださいという話ですね。多分管理されている方というのは、そういう情報がとれるということを知らない方もみえると思います。ですので、その案内だけでも、役場のほうから、こういうのがあるよというのを出してやれば少しは親切かなと思うんですけども。役場も宿直とか当直の方がみえますので、メールサービスは、調べたところ300何円ですので、役場の方も、そのメールを利用したらいいのかなと私は思うんですけども。あと自治体とか、そこら辺には、そういうメールがあるよという案内というか、情報を流してやる、それぐらいの親切があってもいいのかなと思いますけど。

土砂の川ざらいの件ですけども、今やってもらっているという話を聞きましたけども、川上から先にやっているような感じですね。基本的に川下から先にやっていかないといかんのじゃないですか。下のほうから川ざらいをしていくというのが私は基本だと思うんですけども、藤川を見てもらうとわかると思うんですけども、一番最後に員弁川にくつつくところでコンクリートの堰があるんですね。あそこが土を止めちゃうんですね。少し水門というか、板で止めるのがあるんですけども、全部あそこで土を止めているような感じで、これでは遊水池にもならんし、調整池にもならんなど私は思っているんです。ほとんどコンクリートに近いところまで来ているんですね。今は草ぼうぼうになってますので、もうほとんど川の容積というのはない、5分の1とか、そのぐらいに減っていると思うんです。ぜひ川ざらいをお願いしたいなと思います。順番を変えて下からやっていくのかなと私は思うんですが。

高架の事故、先ほど高架下の話をしましたけども、そこだけじゃないですね。今、東員町で高架しているところというのは。たしか長深の奥のほうにもあったような気がしたんですけども。道の名前がわかりませんので、あれですけども。

平成20年8月にこんな事故があったのをご存じですかね。栃木県の鹿沼市で、「お母さん、さよなら」と言って最後に亡くなったというので、随分大きなニュースになったんですけど、警報が出て、バリケードを設置する業者さんが駆けつけたけど、既に遅くて、その女性は水没した車の中から電話をしたんですけども、あちこちで冠水してますので、行き違いがあって、違うところへ消防車が駆けつけたかな。そんな事故で、その方は、「もうだめだから、お母さんさようなら」と言って亡くなったというニュースがありました。

ゲリラ豪雨の時は、駆けつけても遅いケースがあるんですね。ですので、今の話を聞いてますと、ポンプで上げるとか、そういう情報があったら駆けつけるとか言いましたけども、ポンプというのはサクションが詰まったり、故障するかもわかりません。そんなケースがいっぱいあると思います。ごみが詰まってポンプが上がらないとかありますので、ポンプの能力も、どれだけの雨でどれだけのポンプ能力が要るんだというのがありますけども、少なくともここまで達したら警報が出て、桑名市のマイカルの奥へ行くと鉄橋の下をくぐってますね。あそこは通行止めの掲示板が出るんですね。そういうのをつけたほうが私はいいと思う。絶対事故が起きますよ。私書かせてもらった長深と東員線の高架下ですけども、昼間でも怖いですもん。何となく。

駆けつけて何とかバリケードを張るというのではなくて、いずれにしても駆けつけることは当然なんですけども、その前に電極で、ここまで達したら電光掲示板が何かで通行止めと、そういうのをしたほうが私はいいと思います。ぜひそういう検討をお願いしたいなと思います。

その辺について、先ほどの高架下の件について。

議長（南部 武司君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

まずメール配信サービスでございますけども、議員からご指摘のとおり、関係諸団体、土地改良区、農家組合にはメール配信があることのご案内を早急にさせていただき、この雨期に対策をとりたいと思っております。

また河床整理でございますが、議員ご指摘のとおり、藤川につきましては、たしか筑紫の取水口があるところ辺については非常に堆積をいたしております。先日もご質問いただいてから、県河川ほとんど回りましたが、これから着手をしていただけたらと思っておりますが、十分県のほうへは要望していきたいと考えております。

また、先ほどご指摘の道路の下の高架下のような道路でございますが、東員町内には新しくできました365号線のところに、車道橋が2カ所と人道橋が2カ所ございます。それらにつきましては、車道橋につきましては150ミリと100ミリのポンプを2台、人道橋につきましては150ミリのポンプを1台設置して管理をいたしております。

議員、機械にお詳しいということですが、ある程度安全数値は2倍ほど持っておりますが、降雨強度も90ミリでございます。先ほど50ミリというのは、ご質問の7月25日が50ミリでしたけども、時間と時間を前後足しますと100ミリぐらいに到達いたしております。その辺から考えましても、かなりの雨量だったなというふうに考えております。

確かにご指摘をいただきましたとおり、なかなか管理というのは完璧には行えませんので、人的な問題、また物理的な問題が絡み合って、そういう事態がいつ発生してもおかしくないと考えておりますので、ご提案をいただきました、例えば警報ランプをつけるとか、そういうことを早急にまた検討してまいりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

以上です。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

ぜひいい検討をお願いいたしたいと思います。

次は地震対策の件について、お伺いをいたします。

このまま読ませてまいりますので、よろしくお願い致します。

南海トラフを想定して、3月31日付で内閣府から震度や津波高さの発表がありました。東員町の震度は6ぐらいでしたかね、赤い線でいきますと。6だと家具は倒れ、窓ガラスは割れる、その程度の震度になります。

1．平日の昼間の地震を想定して、高齢者や女性を対象に、地震に対する座学や訓練の計画をしてください。

2．高齢者が使いやすい消火栓のスタンドパイプの配備を検討してください。

3．学校・幼稚園・自治会の集会所等、多数の人たちが集まると想定される施設の耐震化は完了していますか。

4．それらの施設に徹底した地震対策はできていますか。書庫、家具、本棚の固定等、きめ細かい対策をしてください。

5．保育園・幼稚園・学校の窓ガラスに飛散防止フィルムの添付を検討してください。

よろしくお願いをいたします。

議長（南部 武司君） 日置直人総務部長。

総務部長（日置 直人君） 種村議員の地震対策についてのご質問にお答えをいたします。

まず1点目の、平日の昼間に発生する地震を想定して、とのご質問でございますけども、長年にわたりまして本町における防災訓練は、小学校区単位で毎年9月に実施をしております、今年度は神田地区でございます。

訓練内容につきましては、現在、神田地区の自治会関係者の方々と協議中でありまして、開催日につきましては、9月1日、2日、土曜、日曜の両日を予定しておりますけども、訓練内容により日程は調整中でございます。

議員のご指摘のとおり、どのような時間帯に発生するかわからない地震に対しての対応として、高齢者の方や女性の方を対象にした、平日の訓練も取り入れていく必要もあろうかと考えておりますけども、本町といたしましては、自主防災組織の訓練やシニアクラブの会合、また、小学校を対象とした防災関係機関や本町防災安全課の防災講話や訓練の実施の支援など、住民皆さん全体に幅広く、防災事業を展開してまいりたいと考えております。

2点目の高齢者の方が使いやすい消火栓、スタンドパイプの配備の検討をとのごとでございますけども、本町の消火栓は、ほぼすべてにおきまして地下式の消火栓が設置されております。

本町の地下式消火栓は、地面から消火栓の接続口までの距離はそれほど深くありませんので、防災関係機関が消火活動を行うときは、直接消火栓の接続口にホースをつないでおります。

高齢者の皆さんが消火栓のふたを開けまして消火栓スタンドパイプを設置するのは、かえってご負担があるのではないかとお考えしております。

また、もう一つ問題となるのが管理の問題でございます。

現在、各消火栓の近くには消火栓ボックスを設置をいたしております。消火栓ボックス内には、消火栓ホース、管鎗（ホースの筒先）、バルブキーが格納されておまして、現在のボックス内では余裕のスペースがございません。

しかし今後、消火栓スタンドパイプの必要性については、自治会、また自主防災組織の皆さんや消防署、消防団等、防災関係機関と協議を続けてまいりたいと思っておりますので、よろしくご理解いただきたいと思っております。

3点目の学校・幼稚園等の耐震化についてでございますけども、学校につきましては平成8年から診断を開始いたしまして、翌年度の第一中学校を皮切りに、補強が必要な施設について、大規模改修とあわせて耐震補強を実施いたしまして、平成16年度の笹尾西小学校を最後に、耐震化を完了いたしております。

4点目の徹底した地震対策につきまして、東日本大震災以降、建物の躯体補強のみならず、学校施設では、外壁をはじめといたしまして、天井、照明器具、建具などの落下防止や設備機器の転倒防止などについても、対策が叫ばれるようになってき

ました。一度にすべての項目につきまして対応するには財政的にも困難でございますので、対応可能な部分から、順次対策を講じてまいりたいと考えているところでございます。

5点目の保育園・幼稚園と小中学校の窓ガラスの飛散防止対策についてでございますけども、平成22年12月議会で、川瀬議員からも同様なご質問をいただいているところですけども、震災以降、学校の施設に対する防災対策の重点項目の中に国の施策として位置づけされまして、耐震対策として、補助率を3分の1とする国の交付金も予算化をされておりまして、子どもたちの安全確保には有効な手段であると考えているところでございます。

しかしながら以前の川瀬議員のご質問にもお答えをさせていただきましたけども、かなりの事業費が必要でございます。例えば飛散防止フィルム、1平米当たり約1万円、概算でございますけども、町内の14の学校施設を整備するには、約2億円近いお金が必要になると見込まれますので、ほかの市町の取り組みとか、新しい飛散対策なども調査研究をしてみたいと考えておりますので、ご理解賜りますよう、よろしく願いをいたします。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

残り11分になってしまいました。

防災訓練は今日の夜も会議があるみたいなんですけども、訓練内容が、避難所、小学校ですけども、そこへ着いてからどうするこうするという話ですね。初期消火とか初期行動とか、そういうものではないような気がするんですけども、初期行動のところの訓練を私は言っているわけです。老人や子どもさんがどうするかということなんです。

その辺は、なかなか役場が全部の自治会に出向いてやるのは無理かと思っておりますので、無理かどうかわかりませんが、できたら自治会にやってもらったにしても、こういうことをやるんだよという標準書みたいなものをつくって、これで自治会長さんをお願いしますとか、そんなことをやればいいかなと私は思うんですけども、自治会だけではなかなかできませんので、そういうこともひとつ検討してもらっていいかなと思ってます。

スタンドパイプですけども、ご老人が例えばふたを開けて、ホースの先をよっこらしょとやるのではなくて、ガチャッとはめ込む、それがいいのかと思うんですけども、お金の関係もありますので、なかなかできないかなと思うんですけども、検討だけはしてください。

耐震は聞きましたけども、ほとんどやってあると。あと完璧な地震対策ですけども、私クリーン作戦委員をやってまして、子どもの勉強に、最近4年生の子どもと一緒に学校へよく出向くんですけども、そのついでに本棚をゆすってみたりするん

ですけども、全部が全部、完璧にされているとは見えないんですね。部分的には何もしてないところがある、そういう状況です。

ですので、学校に任せておくのもそうですけども、一回、役場の防災課か何かが点検に行かれたらどうかなと思うんです。固定なんかはL字型のビスでとめるだけです、お金の問題じゃないんですね。そういうことをぜひパトロールしてもらって、完璧にやっておかないと、万が一、一つでも倒れると大変なことになりますので、ぜひ回られて点検したほうが良いと思います。

図書室の本ですけども、非常に気になるんですけども、本がバラバラと置いてあるんですけども、あれも子どもたちが本を読んでいるときに地震が来たら全部出てきますよね。本棚は固定されていてよかったんですけども、本の下にストッパーシートというのがあるみたいなんですね。それを敷いておくと落ちないとか、それも検討の中に入れておいてください。

役場内ですけども、役場というのは震災のときは本部になるわけですね。本部が家具を固定してなくてだれかがけがをしたとか、笑い話にもなりませんので、ぜひ役場の中はきちっとして、けが人のないように、本部の人がけがをしたら、もともと子どもありませんので、ぜひ役場もしっかりやってもらいたいなと思ってます。

飛散フィルムの話ですけども、2億円かかるとおっしゃいましたけども、まあそうでしょうね。この間、幼稚園の入学式で幼稚園にお邪魔したんですけども、あそこは窓ガラスが非常に大きいんですね。子どもを見やすいようにしてあるんですかね。非常に見やすい窓ガラスですわ。これは割れたら大変なことになるなとは思って見ていたんですけども、教育の関係で、はだし教育というのもあるんですかね。幼稚園と保育園は、はだしのときもありますよね。そのときに地震が来たら、子どもたちはたちまちガラスでけがをするということになりますので、まず順番は、やるのなら保育園・幼稚園から先かなと、そんなふうなことを思ってます。

高学年の中学3年生ですか、その辺は自分たちで判断できますので、いいかと思うんですけども。お金がなかったら、かっこ悪いかもわかりませんが、テープを張るとか、そんなこともやってもいいかなと思うんですけども。その辺はいくつか話をしましたけど、どうでしょうかね。

議長（南部 武司君） 日置総務部長。

総務部長（日置 直人君） お答えをさせていただきます。

まず防災訓練につきまして、今年度の神田地区の防災訓練の現在の案としましては、先ほど議員申されましたように、夜間型の実施訓練ということで、15時から参集していただいて、それぞれ炊き出し訓練とか、いわゆる防災のゲームを通じて、半分訓練といった形で計画をされているところなんですけども、昨年も笹尾西小学校で体育館を活用した避難体験の訓練ということで、それぞれ集まっていた方に、まず役割もすべて皆さんで決めていただくという初期行動を想定した訓練を

実施しまして、そこでいろいろ見えてきました問題点等も今後の防災訓練に生かしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

スタンドパイプの検討ということで、私もお答弁させていただきましたけども、すべての消火栓にスタンドパイプというのは当然無理な話でございますので、スタンドパイプが有効に使えるような場所等がございましたら、消防署等とそれぞれ協議をして、継続をして検討してまいりたいというふうに考えております。

地震対策で家具の固定等について、先ほどは学校関係についてお答をさせていただきましたけども、役場庁舎も住民の方がそれぞれ来ていただきますので、ロビー等、職員の安全を守るためにも、それぞれ点検を実施するというふうに確認をとっておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

学校関係につきましては教育委員会と今後相談して、学校の飛散防止フィルムについても、それぞれ協議をしてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひをいたします。

議長（南部 武司君） 種村博行議員。

5番（種村 博行君） ありがとうございます。

残り時間4分ですので、ちょうどよかったかなと思つてます。

本当にありがとうございました。

これで終わります。